

How we got the Bible and why you can trust it

聖書はどのようにしてできたのか

&

聖書はなぜ信頼できるのか

クラス1

歴史上のイエスと新約聖書の背景



聖書以外でイエスを語る人物

サマリアのタロス(Thallus)

- 一世紀中旬から二世紀
- 文献は現在存在していない
- キリストの十字架の時の暗闇を月食だと言う
- 歴史者ユリユス・アフリカナスが引用



聖書以外でイエスを語る人物

- 歴史者ユリウス・アフリカナスが引用
- On the whole world there pressed a most fearful darkness; and the rocks were rent by an earthquake, and many places in Judea and other districts were thrown down. This darkness Thallus, in the third book of his *History*, calls, as appears to me without reason, an eclipse of the sun. For the Hebrews celebrate the passover on the 14th day according to the moon, and the passion of our Savior falls on the day before the passover; but an eclipse of the sun takes place only when the moon comes under the sun.



聖書以外でイエスを語る人物

- 歴史者ユリウス・アフリカナスが引用

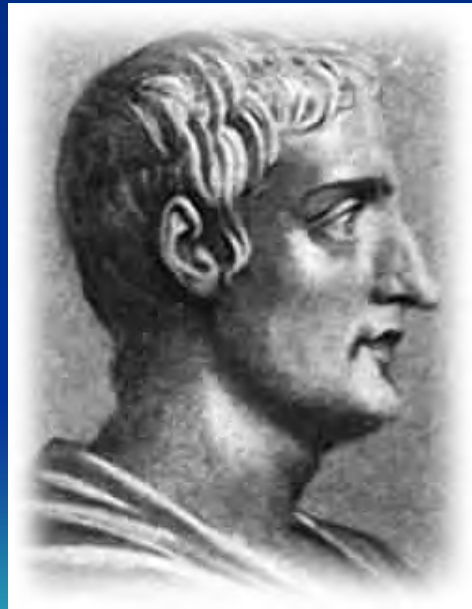
「世界中は恐ろしい闇に包まれた。大きな地震が起こり、いくつかの都市は被害を受ける。タロスは「歴史」の三巻目では、理由もなくこの暗闇の原因は日食だと言った。ヘブライ人は過ぎ越し祭を月間カレンダーの14日目、十字架は過ぎ越し祭の前日。つまり日食とは月が太陽の前に現れる時にしか起こらない。」



聖書以外でイエスを語る人物

ローマのコーネリウス・タキトゥス(56-117)

- ローマ帝国の上院議員・歴史者
- ティベリウス、クラウディウス、ネロ皇帝について書いた



聖書以外でイエスを語る人物

ローマのガイウス・ソートニアス・トランキラス

- (69－130AD)ローマの歴史者
- 「12人のカエゼル」 最も有名な文献

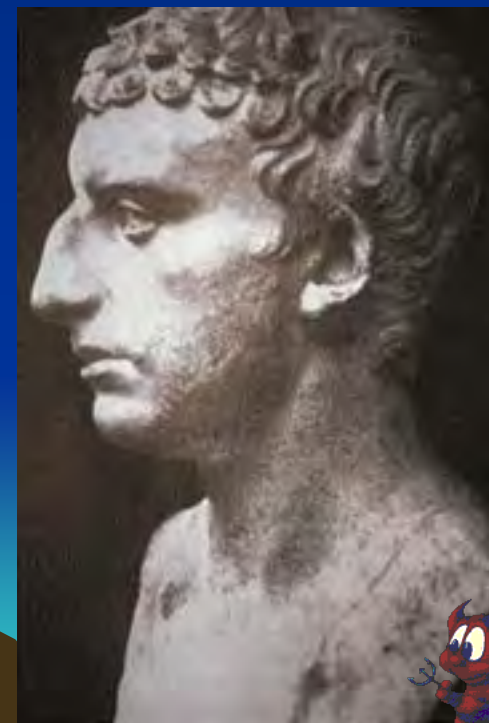
「彼はローマからユダヤ人を追放した。それは彼らが
クレストス(キリスト)にそそのかされて絶えず巻き起
こした騒動のためであった。」(クラウディウスについて)

「パウロがアキラとプリスキラに会ったのは、クラウ
ディウス帝がユダヤ人をローマから退去させた為と
書かれています。」使徒18:2

ソートニアスの記述と聖書と一致します。

聖書以外でイエスを語る人物

- ・ ユダヤ人のフラビウス・ヨセフス（37－100）
- ・ 元兵士、第一ユダヤ・ローマ戦争に出兵
- ・ ローマ兵に降参。ローマ兵のために活躍
- ・ ローマの国民権獲得、歴史を書く



聖書以外でイエスを語る人物

- ・ ヨセフス 「古代史第18巻」

「さて、この頃賢人イエスがいた。...彼を人と呼ぶのが正統であればのことであるが。なぜなら彼は驚くべき業を行う者であり、真理を喜んで受け入れる者たちの教師であったからである。彼はユダヤ人の多くの者たちと異邦人の多くの者たちを自分のもとに引き寄せた。彼はキリストであった。そして、ピラトがわれわれの中のおもだった者達に促されて彼に十字架刑の判決を下したとき、彼を最初に愛した者達は彼を捨てなかった。なぜならば彼は3日目に再び生きて彼らに現れたからである。

